

サロン・キティ (1976)

SALON KITTY
MADAM KITTY

メディア 映画
ジャンル ドラマ 戦争 エロティック
製作国 イタリア／フランス／西ドイツ
色彩 Color
時間 124分
初公開日 1979/03/03
公開情報 東映洋画
リバイバル 1981/04 [東映洋画]

【解説】

第二次大戦中のベルリン、権力欲に取りつかれたナチス親衛隊の将校が、軍人や重要人物が集まる高級娼館に大量の女スパイを送り込む。利用されていたと知った女主人と恋人を殺された娼婦の一人が復讐を計画、将校の秘密を暴き失脚を謀る。

ヴィスコンティの「地獄に堕ちた勇者ども」を強く意識したと思われるが頹廢的ムードや登場人物たちの狂気は遠く及ばない。最も大きな失敗は女主人を中途半端にまともな人物として描いてしまったことで、将校に抵抗する力強さが感じられないばかりでなく、空襲を受けて崩れ行く館で狂気の笑いをあげるラストシーンも生きてこないのだ。セックス場面ももっと激しく狂態を描かないと戦下での異常性が際立ってこない。女主人が歌うショーの場面は雰囲気があっているが、その雰囲気も持続しなかった。

当初はポルノ映画扱いで「ナチ女秘密警察／SEX親衛隊」という凄絶なタイトルだったが、81年にオリジナルの形で再公開された。

【クレジット】

監督	ティント・ブラス	Tinto Brass	
製作	ジュリオ・スバリジア エルマンノ・ドナーティ	Giulio Sbarigia Ermanno Donati	
脚本	エンニオ・デ・コンチーニ マリア・ピア・フスコ ティント・ブラス	Ennio de Concini Maria Pia Fusco Tinto Brass	
撮影	シルヴァーノ・イッポリティ	Silvano Ippoliti	
プロダクション デザイン	ケン・アダム	Ken Adam	
美術	エンリコ・フィオレンティーニ		
編集	ティント・ブラス	Tinto Brass	
音楽	フィオレンツォ・カルピ	Fiorenzo Carpi	
出演	ヘルムート・バーガー イングリッド・チューリン テレサ・アン・サヴォイ ジョン・スタイナー サラ・スペラティ マリア・ミーキ ローズマリー・リント	Helmut Berger Ingrid Thulin Teresa Ann Savoy John Steiner Sara Sperati Maria Michi Rosemarie Lindt	ヘルムート・ワレンベルグ キティ・ケラーマン マルゲリータ ピオンド ヘルガ ヒルデ スーザン

パオラ・セナトーレ	Paola Senatore	マリカ
ジョン・アイアランド	John Ireland	クリフ
ティナ・オーモン	Tina Aumont	ヘルタ
ダン・ヴァン・ハッセン	Dan van Husen	ラウス
ステファノ・サッタ・フローレス	Stefano Satta Flores	ディーノ
ベキム・フェーミュ	Bekim Fehmiu	ハンス
ジャンカルロ・バデッシ	Giancarlo Badessi	
ルチアーノ・ロッシ	Luciano Rossi	